

協議会だより (第11号)

発行 奈良県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

会員名簿	奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、葛城市、宇陀市、斑鳩町、平群町、三郷町、田原本町、広陵町、河合町、川西町、三宅町、大淀町、下市町、御杖村、高取町、明日香村、奈良県農業協同組合、奈良県土地改良事業団体連合会
------	--

発行担当者：協議会事務局「水土里ネット奈良」 道具・植村 TEL 0742-26-1310、FAX 0742-26-1288 奈良市高畑町1116番地の6

協議会ニュース

奈良県多面的機能支払交付金研修会を開催しました。

平成29年12月22日（金）になら土連会館4階大会議室において、農業の有する多面的機能を支える地域の共同活動を推進するための研修会を開催したところ、県下活動団体等から217名の方々に参加いただきました。

今回の研修会では、多面的機能交付金の執行に関する講演と2団体による活動事例の発表がありました。講師の方々、貴重なお話有り難うございました。

その他、奈良県農村振興課、並びに奈良県土地改良事業団体連合会から情報提供がありました。

当日の様子



開会挨拶・研修会会場の様子

奈良県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 藤永和生会長から開会挨拶と本交付金の変遷についての話がありました。



講演、事例発表に熱心に耳をかたむける参加者



講演 「多面的機能支払交付金の取組状況と抽出検査にみる注意事項について」

近畿農政局多面的機能支払推進室長 川上正重氏

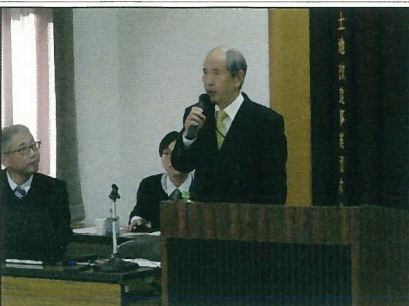
- ・近畿管内の取組団体の中から特徴的な取組を行っている事例（企業、直売所が活動に参加）を紹介。
- ・国の抽出検査結果を踏まえた事務処理上の課題・問題について具体例をあげて解説されました。



事例紹介 「深野農地水環境保全協議会」の活動

深野〇〇会・深野ササユリ保存会 北森義卿氏 宇陀市

このまま放置すれば、深野集落の維持が困難なときがくると危惧し、31年前に景観・美化、都市農村交流、伝統行事の継承の活動をする『深野〇〇会』を組織し活動しています。活動の成果として、自分たちの地域の良さを「認識」「再発見」出来ました。又、地域住民の活動に対する積極性という意識変化が醸成されました。



事例紹介 「瓶原地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会」（略称：瓶原保全会）の活動

瓶原保全会 森下讓二氏 京都府木津川市加茂町

瓶原（みかのはら）保全会は旧瓶原村の9集落の活動組織から構成された広域組織です。

交付金対象活動の集落間のばらつきをなくする工夫として、活動の実施にあたり、共同活動の実施フローにより、運営委員会の承認を諮ることとしています。

協議会ニュース

国の平成30年度予算について、概算決定されました。

平成30年度農林水産関係予算概算が閣議決定されました。

「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金のいわゆる日本型直接支払により、多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援を行います。

● **H30年度 予算概算決定額 日本型直接支払 77,190百万円**

多面的機能支払交付金

48,401百万円

○農地維持支払

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動を支援します。

○資源向上支払

水路、農道の軽微な補修や植栽による景観形成などの農村環境保全活動や施設の長寿命化の為農地法面の草刈り、水路の泥上活動を支援します。

中山間地域等直接支払交付金

26,340百万円

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を支援します。

※中山間地域等（地域振興8法等指定地域）

対象者は集落協定又は個別協定に基づき5年以上継続して耕作を行う農業者等。

環境保全型農業直接支払交付金

2,450百万円

農業の有する多面的機能のうち自然環境の保全に資する農業生産活動を支援。

○支援対象活動

化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止やさまざまな生物を地域で育み生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援します。

紹介コーナー

平成29年度美アップ農村・レディーセミナーが催されました。

平成29年12月8日（金）になら土連会館、奈良ホテルを会場にして、公益財団法人 農業振興会館主催平成29年度美アップ・レディーセミナーを開催、本年度で第25回をむかえました。

本セミナーは奈良県内において、農業農村の保全活動に取り組む女性、農業や農村環境に関心をよせる女性を対象に、開催するものです。セミナーには50名の参加をいただきました。

小城利重農業振興会館副理事長の開会挨拶の後、的場輝佳奈良女子大学名誉教授に「和食の源流、奈良の食文化」と題して講義を受けました。その後会場を奈良ホテルにうつして、テーブルマナーを勉強しました。

アンケートを実施しましたが、奈良には奈良発祥の食べ物がたくさんあること例えば、うどんが奈良発祥、酒が奈良発祥など初めて知った。と同時に今日まで伝承されてきた事を再認識し、私達も後生に伝えていかねばならない等の意見をいただきました。又、テーブルマナーも参加者に好評でした。



(的場先生の講演)



(的場先生の講演)



(テーブルマナー奈良ホテル)